

第9回 戦争の加害パネル展（かながわ）

ミニ講演会の御案内（参加無料）

日時：2024年5月4日（土）14：00～16：00

場所：かながわ県民センター パネル展会場内

演題：中国人強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）

講演：青木茂（中国人強制連行・強制労働と万人坑に関する著書多数）

（ミニ講演会の会場内で著書を販売します）

（以下、ミニ講演会に関わるメモ）

日本の侵略戦争と植民地支配の簡単な歴史

- 1868年 明治維新（倒幕、薩長主導）
 - 74年 台湾出兵（初めての海外派兵、琉球支配を確立）
 - 75年 江華島事件 ⇒ 76年、日朝修好条規（江華島条約）
 - 94年～95年 日清戦争（清国の朝鮮支配を排除、台湾の植民地化）
- 1900年 義和団運動鎮圧の干涉戦争（8カ国連合軍）
 - 04年～05年 日露戦争（韓国の支配権獲得、南満洲の権益獲得）
 - 10年 韓国併合条約（韓国・朝鮮の植民地化）
 - 14年～18年 第1次世界大戦（日本はドイツに宣戦布告、シベリア出兵）
 - 15年 対華21カ条要求（対ドイツ戦の見返り、山東・南満洲・内蒙古の権益）
 - 19年 パリ講和会議 ⇒ ベルサイユ条約（山東省のドイツの権益は日本へ）
 - 朝鮮3・1運動 中国5・4運動
- 27年～28年 山東出兵
- 31年 柳条湖事件、中国東北への公然侵略開始（「満州事変」）
- 32年 「満州国」建国（中国東北の植民地化）
- 33年～ 華北分離工作
- 37年 盧溝橋事件、対中国全面侵略開始
- 39年 第2次世界大戦開始
- 41年 アジア太平洋戦争開始
- 42年～44年 雲南戦（中国滇西抗戦）
- 45年 日本敗戦、ポツダム宣言受諾

日中戦争とは、どのような「戦争」か？

日中15年戦争（1931年の「満州事変」 ～ 1945年の日本敗戦）

日本による、中国に対する一方的な侵略

一方的な加害者（侵略者）の日本 対 一方的な被害者の中国

目的は経済（金儲け）、中国人を殺傷することが目的ではない。

- ・「満蒙は日本の生命線である！」と堂々と主張。
- ・財閥・企業が主役であり、脇役の軍隊を用心棒として養い利用した。
軍隊（軍人）の目的は ⇒ 保身・立身出世・名声獲得・組織増殖

（参考）アメリカ・イギリスなど欧米諸国との戦争（アジア太平洋戦争）

⇒ 植民地を巡る侵略者（一方的な加害者）同士の覇権争い

日中15年戦争による中国の死傷者

中国の統計（中国の公式記録）による死傷者 ⇒ 3500万人

そのうち、死者＝2100万人 負傷者＝1400万人

中国人死者2100万人の内訳（講演者＝青木の想像）

- ・民間企業の強制労働による犠牲者 ⇒（おそらく）1000万人以上
 - ・日本軍の武力による殺戮・虐殺 ⇒ 残り（約1000万人？）
- ⇒ 民間企業の経済活動（強制労働）による犠牲者が半数を占める！

（参考）日本でよく用いられるアジア太平洋戦争の犠牲者数

- ・日本人 ： 310万人
- ・アジア全体：2000万人（そのうち、中国で1000万人）

民間企業の強制労働による中国人犠牲者が1000万人であれば、
日本軍（軍隊）は中国人を殺害していないことになる。

（南京大虐殺もなかったことになる。）

⇒ アジア太平洋戦争の犠牲者数は、アジア全体で3100万人。
そのうち中国の犠牲者数は2100万人ということではないか。

中国人強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）

- ・日中15年戦争における中国人犠牲者2100万人の半数＝約1000万人は、直接的には軍隊も武器も関わらない民間企業の営利活動の中で死亡している。
- ・「中国人強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）」は、その民間企業の営利活動による1000万人もの犠牲者に関わる話であり、中国侵略の本質である財閥・企業などの金儲けに関わる話です。

（参考）ナチのホロコーストによるユダヤ人犠牲者は600万人。